

◆移住支援情報や移住者の声を発信

- Facebookページ「箱根に住もう」では、町の移住に関する情報を発信中
移住者の紹介や町の施策紹介、イベント情報のほかトライアルステイの様相も発信しています。
<https://www.facebook.com/hakonelife>

- 箱根に移住された方の日々の暮らしをそれぞれのFacebookで発信してもらい、その情報を集約サイト「M*Board」によりリアルタイムで発信中
<https://www.mboard.jp/hakonelife>



◆トライアルステイ(お試し居住)を実施

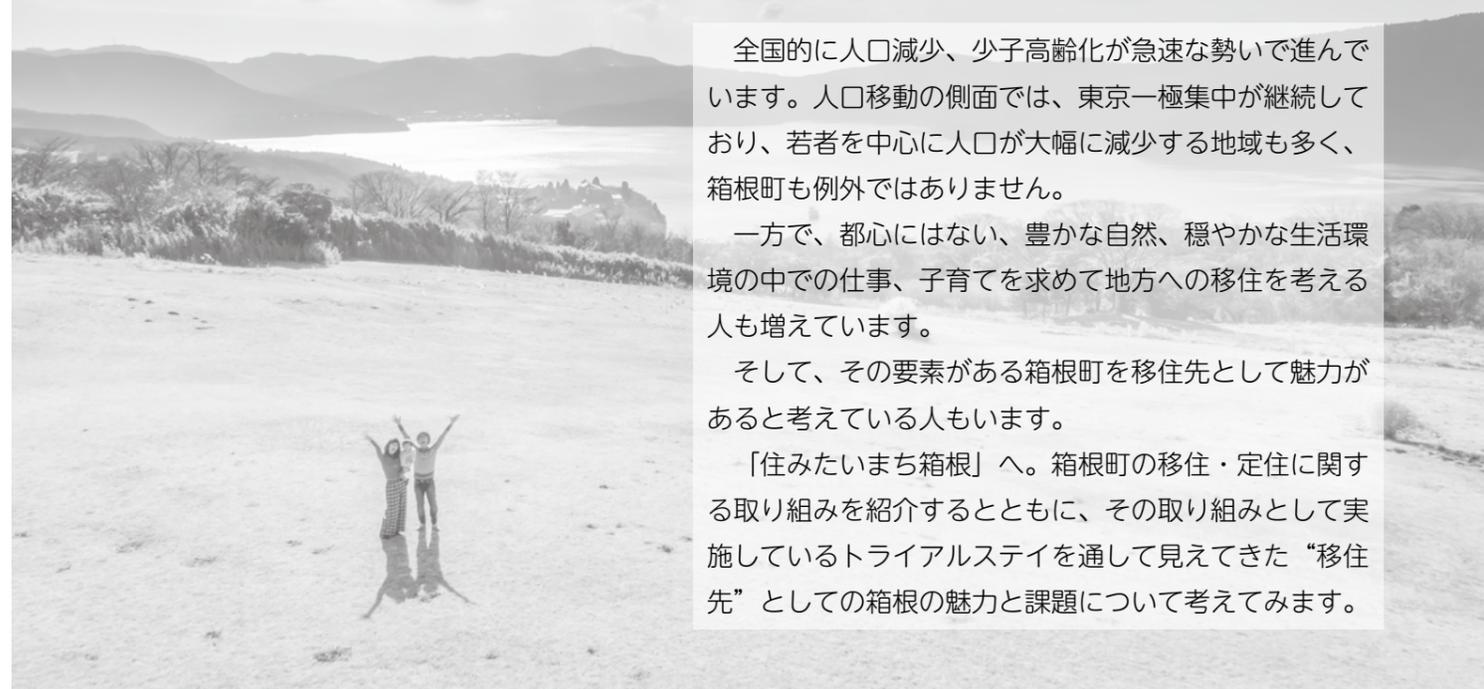
- 箱根に移住を考えている方を対象に、一定期間、町内での日常の暮らしを実際に体験してもらい、移住の参考としていただくためにトライアルステイ(お試し居住)を実施しています。
- 平成28年度から実施し、これまで77組の応募があり、事前選考等により、23組の方に参加していただきました。
- 参加者の方には2～3週間、町内の住宅に滞在していただき、滞在中には、町内の案内や先輩移住者との交流会を実施し、住む場所としての箱根の理解を深めてもらっています。
- 平成30年度は、仙石原の物件を使用し、カメラマンやフリーライター、広告宣伝業などの職種の方から、家族構成も単身の方、夫婦、お子さんのいる家族まで様々の方に参加していただきました。またサポート役として箱根に移住された方を中心に町内案内や交流会をお手伝いいただきました。詳しい内容については次頁をご覧ください。



◆各種補助制度で移住・定住を支援(詳細はホームページで確認ください)

- 若者世帯住宅取得補助制度**
若者世帯が新たに住宅を取得する際の費用の一部を補助しています。
- 利子補給融資保証料補助制度**
自ら居住する住宅を取得した際、町指定の金融機関から借り入れた個人住宅取得資金の利子を対象に利子補給を行っています。また町指定の金融機関から個人住宅取得資金を借り入れた際の融資保証料の一部を補助しています。
- 民間賃貸住宅家賃補助制度**
新婚世帯、転入若者世帯が新たに民間賃貸住宅に入居する際の家賃の一部を補助しています。
- 空き家リフォーム補助制度**
箱根町空き家バンクを利用して売買・賃貸した空き家を、定住を目的にリフォームした際の費用の一部を補助しています。

特集 箱根町の移住・定住の取組み



全国的に人口減少、少子高齢化が急速な勢いで進んでいます。人口移動の側面では、東京一極集中が継続しており、若者を中心に人口が大幅に減少する地域も多く、箱根町も例外ではありません。

一方で、都心にはない、豊かな自然、穏やかな生活環境の中での仕事、子育てを求めて地方への移住を考える人も増えています。

そして、その要素がある箱根町を移住先として魅力があると考えている人もいます。

「住みたいまち箱根」へ。箱根町の移住・定住に関する取り組みを紹介するとともに、その取り組みとして実施しているトライアルステイを通して見えてきた“移住先”としての箱根の魅力と課題について考えてみます。

◆移住ライフスタイルBook「リブハコ!」の作成・配布

- 平成30年3月に移住促進のため作成
- 移住者の紹介や住民目線での町内マップ、移住支援施策を紹介
- 有楽町「ふるさと回帰支援センター」、日本橋「移住・交流情報ガーデン」、原宿「BROOK'S ME-BYO café」など都内で配布するほか、町内各施設、町内セブンイレブン、ファミリーマートでも配布中



◆移住セミナーで町の移住をPR

- 東京有楽町「ふるさと回帰支援センター」で開催される移住セミナーにも参加し、町をPRするほか、移住を検討されている方の移住相談を受けています。



◆空き家バンクで物件を紹介

- 町内の空き家等を有効活用して、地域の活性化と定住の促進を図るために「箱根町空き家バンク」を創設しました。売りたい、貸したいと希望する空き家等を所有する方から物件情報を登録していただき、その情報を見て、買いたい、借りたいという希望者との橋渡しを行っています。